

### 第Ⅲ章 学習活動の実態

本章では、平成8年調査に引き続き、仙台市民がどのような学習を、どのような方法・形態で、どの程度のレベルを目標に行っているのかなど、学習活動の実態を明らかにするとともに、学習していない市民の阻害要因などを検討する。

#### 1. 学習率

最初に、社会的属性の観点から、学習率について検討する。今回調査対象となった20歳以上の市民のうち、過去1年間に、学校や予備校以外での、「はっきりと自覚して、何かを習ったり、練習したり、学習したりした」人の比率は、40.4%である（表Ⅲ－1－1）。なお、この調査での「学習」には、先生やコーチについて行う学習だけでなく、ひとりで練習したり、本を読んだり、テレビやラジオ、テープを聞いたりして学ぶなど、さまざまな方法での学習を含んでいる。さらに、学習内容についても、教養に関する学習、職業に関する学習、日常生活に関する学習、芸術・芸能・趣味に関する学習、さらには、体育・スポーツに関する学習も含んでいる。

学習率を前回の平成8年調査の結果と比較すると1.7ポイント高い数値であるが、ほぼ同じと考えていいであろう。また、前回同様、この学習率は男女差があり、女性の方が7.2ポイントほど高い。しかし、平成8年調査では10ポイント以上の差が見られたが、今回はやや縮まっている。

表Ⅲ－1－1 性別にみた学習率 (％)

|    | 今回(平成13年調査) | 前回(平成8年調査) |
|----|-------------|------------|
| 全体 | 40.4        | 38.7       |
| 男  | 36.4        | 32.4       |
| 女  | 43.6        | 43.5       |

職業別に見ると、表Ⅲ－1－2のとおりである。平成8年調査の職業分類とやや異なるので、単純に比較はできないが、「勤め（常勤）」「学生」「専業主婦」の学習率はやや下がっているが、「無職」の学習率は上がっている。

年齢別の学習率を見たのが、表Ⅲ－1－3である。全体として、35歳～44歳と55歳以降での学習率が高くなっている。男性では、高齢期になると学習率が高くなる傾向がある。女性では、25歳から59歳までの年齢層において、男性よりも学習率が高くなっている。

末子の年齢別にみたものが、表Ⅲ－1－4である。女性の場合、末子年齢が「0～3歳」の場合、学習率は28.3%と、低くなっている。女性の学習率がもっとも低いのは末子年齢が「16～18歳」で14.3%となっている。末子年齢が3歳を超えると学習率が高くなる。

表Ⅲ－１－２ 職業別にみた学習率 (%)

|          |      |
|----------|------|
| 勤め（常勤）   | 35.1 |
| 勤め（非常勤）  | 38.7 |
| 自営業・自由業  | 40.6 |
| 家族従事者 *1 | 50.0 |
| 学生       | 52.0 |
| 専業主婦     | 43.7 |
| 無職       | 48.6 |
| その他 *2   | 83.3 |

\*1 実数 8 に対する比率 \*2 実数 6 に対する比率

表Ⅲ－１－３ 年齢別・性別にみた学習率 (%)

| 年齢 | 20～<br>24歳 | 25～<br>29歳 | 30～<br>34歳 | 35～<br>39歳 | 40～<br>44歳 | 45～<br>49歳 | 50～<br>54歳 | 55～<br>59歳 | 60～<br>64歳 | 65～<br>69歳 | 70～<br>75歳 |
|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 全体 | 36.7       | 35.4       | 37.1       | 44.6       | 47.0       | 30.6       | 34.7       | 43.3       | 41.7       | 52.7       | 46.4       |
| 男  | 37.9       | 25.8       | 31.4       | 36.2       | 39.3       | 25.0       | 23.8       | 29.4       | 44.4       | 61.3       | 66.7       |
| 女  | 35.5       | 41.2       | 40.7       | 53.3       | 52.6       | 36.1       | 42.9       | 61.5       | 38.1       | 41.7       | 22.2       |

表Ⅲ－１－４ 末子の年齢別にみた学習率 (%)

| 年齢 | 0～3 歳 | 4～6 歳 | 7～12 歳 | 13～15 歳 | 16～18 歳 | 19 歳以上 | 子どもは<br>いない |
|----|-------|-------|--------|---------|---------|--------|-------------|
| 全体 | 33.7  | 40.0  | 39.4   | 41.7    | 37.1    | 41.5   | 42.2        |
| 男  | 42.4  | 30.8  | 26.7   | 37.5 *1 | 52.4    | 42.4   | 29.5        |
| 女  | 28.3  | 50.0  | 48.8   | 45.0    | 14.3 *2 | 40.6   | 53.4        |

\*1 実数 16 に対する比率 \*2 実数 14 に対する比率

居住地区別に学習率を見たものが、表Ⅲ－１－５である。学習率が最も高い地区は泉区であり、平成 8 年調査結果と同じである。だが、地区による学習率の差は以前ほど大きくはなく、ほぼ 8 ポイントである。

表Ⅲ－１－５ 居住地区別にみた学習率 (%)

| 青葉区            | 宮城野区           | 若林区            | 太白区            | 泉区             |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 41.5<br>(43.7) | 38.8<br>(31.8) | 40.2<br>(35.5) | 36.6<br>(31.1) | 45.0<br>(49.4) |

\* ( ) 内は平成 8 年調査

次に、社会的属性の観点からではなく、市民の活動や日ごろの関心といった個人的属性の観点から、学習率を分析することにして。

日ごろどのようなことに充実感を感じているかを先の章で見たが、その充実感をどのようなときに感じる人が学習活動をしているか、充実感と学習率の関連を見たのが、表Ⅲ－１－６である。また、第Ⅵ章で検討する「ボランティア活動の有無」と学習率の関連を見たのが、表Ⅲ－１－７である。

前回の平成８年調査では、学習率が最も高かったのは「ボランティア活動などの社会奉仕活動をしているとき」というものであったが、今回は「趣味やスポーツに熱中しているとき」が68.0%で最も高かった。

しかしながら、表Ⅲ－１－７でわかるとおり、過去１年間にボランティア活動をした人は、学習率が63.1%となっており、活動をしなかった人に比べ25ポイントも差がある。

表Ⅲ－１－６ 充実感を感じるときと学習率の関連 (%)

| 充実感を感じるとき                | 学習率  |
|--------------------------|------|
| 仕事に打ち込んでいるとき             | 41.9 |
| 勉強や教養を身につけることに熱中しているとき   | 68.0 |
| 趣味やスポーツに熱中しているとき         | 50.6 |
| ゆったりと休養しているとき            | 37.0 |
| 家族だんらんのとき                | 39.5 |
| 友人や知人などと会合・雑談しているとき      | 42.8 |
| ボランティア活動などの社会奉仕活動をしているとき | 64.4 |
| その他                      | 42.7 |
| 特になし                     | 18.8 |

表Ⅲ－１－７ ボランティア活動の有無と学習率の関係 (%)

| ボランティア活動の有無 | 学習率  |
|-------------|------|
| した          | 61.9 |
| しなかった       | 36.9 |

## 2. 学習内容

上で見たように、市民の約4割は学習活動を行っている。これらの学習者がどのような内容の学習を行っているかを次に検討する。調査では、現在行っている学習活動を3つまで具体的に記入してもらい、集計した結果である。記入された内容を分類し、上位10位までを掲げたのが、表Ⅲ－2－1である。表から分かることは、3つの学習活動を合計すると、もっとも多くの人々が学習している項目は「パソコン」で19.0%、次が「英語・英会話」で6.8%、そして「園芸」の5.9%である。前回の平成8年調査においては、「書道」と「英語・英会話」が最も多く、「園芸」や「パソコン」も上位にあった。今回は「パソコン」が大幅に比率を上げ、「書道」がやや比率を下けているが、全体的にみるとよく行われている学習内容にはあまり大きな変化は見られない。

比率は学習しているという回答者の中での数値であり、「パソコン」を学んでいる上記の比率19.0%は、調査回答者全体の中での比率を求めると、7.7%になる。この1年間で学習したという回答者は321人であり、学習項目の合計は454項目である。すなわち、学習しているという市民はひとり平均1.4項目の学習をしていることになる。

これを41の中項目で分類し上位10位までを示したのが表Ⅲ－2－2である。もっとも比率が高いのは「美術・写真・書道」で12.1%、以下「資格」(10.6%)「球技」(9.7%)「外国語」(8.1%)「個人スポーツ」(8.1%)の順となっている。性別に分析すると、男性と女性では、やや学習内容に違いが見られる。最も多かった「美術・写真・書道」は男性よりも女性の比率の方が高く、「資格」や「球技」は男性の比率の方が高いことがわかる。

表Ⅲ－2－1 学習内容（小項目）－上位10位まで－（%）

| 順位 | 今回調査   | 比率   | 平成8年調査 | 比率  |
|----|--------|------|--------|-----|
| 1  | パソコン   | 19.0 | 英語・英会話 | 8.1 |
| 2  | 英語・英会話 | 6.8  | 書道     | 8.1 |
| 3  | 園芸     | 5.9  | 園芸     | 5.4 |
| 4  | 料理     | 5.0  | パソコン   | 5.1 |
| 5  | 社交ダンス  | 4.7  | ゴルフ    | 4.8 |
| 6  | 書道     | 4.4  | テニス    | 3.5 |
| 7  | 水泳     | 3.1  | 華道     | 3.0 |
| 8  | ゴルフ    | 2.8  | スキー    | 2.7 |
| 9  | テニス    | 2.8  | 料理     | 2.4 |
| 10 | 写真     | 1.9  | 茶道     | 2.4 |

\* 比率は3つまでの合計を出し、1つでも回答のあったサンプル321を母数として計算した（以下このようにして算出した数値を「学習者数に対する比率」とあらわす）。

\*複数回答 学習者数に対する比率

表Ⅲ－２－２ 性別にみた学習内容（中項目）－上位 10 位まで－（％）

| 順位 | 学習内容       | 全体   | 男    | 女    |
|----|------------|------|------|------|
| 1  | 美術・写真・書道   | 12.1 | 9.9  | 14.8 |
| 2  | 資格         | 10.6 | 13.0 | 8.3  |
| 3  | 球技         | 9.7  | 13.7 | 7.7  |
| 4  | 外国語        | 8.1  | 7.6  | 9.5  |
| 4  | 個人スポーツ     | 8.1  | 3.8  | 11.8 |
| 6  | 園芸・盆栽      | 7.5  | 6.9  | 7.7  |
| 7  | 音楽         | 7.2  | 4.6  | 8.3  |
| 8  | パソコン（趣味）   | 6.9  | 8.4  | 5.9  |
| 9  | パソコン（その他）  | 6.9  | 7.6  | 6.5  |
| 10 | 舞踏、演劇、民俗芸能 | 6.2  | 3.8  | 8.9  |

\*複数回答 学習者数に対する比率

なお、学習内容の傾向を大きく捉えるために表Ⅲ－２－３には大項目で分類した結果も示しているが、これを見てもわかるように「芸術・芸能・趣味に関する学習」の比率が特に高く、次いで「体育・スポーツに関する学習」と「職業に関する学習」がほぼ同率となっている。

表Ⅲ－２－３ 学習内容（大項目）（％）

|                |      |
|----------------|------|
| 職業に関する学習       | 21.8 |
| 家庭・日常生活に関する学習  | 15.0 |
| 教養に関する学習       | 18.4 |
| 芸術・芸能・趣味に関する学習 | 54.2 |
| 体育・スポーツに関する学習  | 22.1 |
| その他            | 10.0 |

\*複数回答 学習者数に対する比率

多くの人が学習している内容（中項目）を年齢別に見ると、表Ⅲ－２－４の通り、20代30代では「外国語」や「資格」「パソコン・インターネット（職業）」（以下、パソコン（職業））などが学ばれている。年齢が上がると、趣味的な内容が増えてくる傾向がある。

さらに、ここでは居住地区別の学習内容を見ることにしたい。表Ⅲ－２－５では、回答者全体で上位 10 位までの学習項目（中項目）を取り上げているが、これが示すように、地区

によりやや異なった傾向が見受けられる。「資格」に関する学習をしている学習者は宮城野区や太白区で多く、「美術・写真・書道」の学習は青葉区、泉区で多い。「園芸・盆栽」は若林区で特に多く見られる。趣味としての「パソコン・インターネット」(以下、パソコン(趣味))については若林区が多いが、青葉区では少ない。「球技」は宮城野区、太白区に多いが、「個人スポーツ」は泉区で最も多くなっている。

表Ⅲ－２－４ 年齢別にみた学習内容－上位３位まで－ (%)

|         | 1 位                           | 2 位                                | 3 位                   |
|---------|-------------------------------|------------------------------------|-----------------------|
| 20～29 歳 | 外国語 (19.6)                    | 資格 (15.7)                          | 球技 (9.8)              |
| 30～39 歳 | パソコン (職業)<br>資格 (12.2)        | 外国語 美術・写真・書道<br>調理・栄養 個人スポーツ (9.5) |                       |
| 40～49 歳 | パソコン (その他)<br>(18.9)          | 資格 (17.0)                          | 球技 (9.4)              |
| 50～59 歳 | 舞踏・演劇・民俗芸能 美術・写真・書道 球技 (13.3) |                                    |                       |
| 60～69 歳 | 美術・写真・書道<br>(16.3)            | 舞踏・演劇・民俗芸能<br>(14.3)               | 調理・栄養<br>園芸・盆栽 (12.2) |
| 70～75 歳 | 美術・写真・書道<br>(38.9)            | 文芸創作<br>球技 (16.6)                  |                       |

\*複数回答 学習者数に対する比率

表Ⅲ－２－５ 地区別にみた学習内容 (%)

|      | 資格   | 外国語  | 音楽   | 美術・写真・書道 | 舞踏・演劇・民俗 | 園芸・盆栽 | パソコン(趣味) | 球技   | 個人スポーツ | パソコン(その他) |
|------|------|------|------|----------|----------|-------|----------|------|--------|-----------|
| 青葉区  | 8.0  | 9.1  | 8.0  | 18.2     | 4.5      | 6.8   | 1.1      | 5.7  | 3.4    | 13.6      |
| 宮城野区 | 14.5 | 6.5  | —    | 9.7      | 6.5      | 3.2   | 6.5      | 14.5 | 8.1    | 4.8       |
| 若林区  | 8.6  | 5.7  | 11.4 | 5.7      | 8.6      | 17.1  | 14.3     | 8.6  | 8.6    | —         |
| 太白区  | 14.3 | 6.3  | 7.9  | 4.8      | 9.5      | 6.3   | 12.7     | 12.7 | 7.9    | 6.3       |
| 泉区   | 8.6  | 11.4 | 10.0 | 15.7     | 4.3      | 8.6   | 5.7      | 8.6  | 14.3   | 2.9       |

\*複数回答 学習者数に対する比率

### 3. 学習方法・形態

次に、これまで見てきた学習活動について、仙台市民はどのような学習方法・形態を用いて学習しているのかを見ることにしよう。表Ⅲ－3－1は、平成8年調査と同じく、一つの学習活動の内容について、どのような学習方法・形態で行っているかを回答してもらった結果を集計したものである。なお、それぞれの学習内容について、一つに限定することなく、該当する学習方法・形態をすべて選ぶという複数回答方式をとったものである。

表Ⅲ－3－1 性別にみた学習方法・形態 (%)

|                    | 全体   | 男    | 女    | 平成8年調査 |
|--------------------|------|------|------|--------|
| テレビ・CDなどを利用してひとりで  | 19.9 | 19.7 | 21.0 | *1     |
| 本を利用してひとりで         | 52.3 | 66.7 | 40.3 | 43.5   |
| ひとりで練習・けいこ         | 26.8 | 34.8 | 20.5 | 28.5   |
| 図書館・博物館などを利用してひとりで | 10.0 | 8.3  | 11.9 | 4.0    |
| 公共施設の講座・教室         | 19.0 | 13.6 | 23.3 | 11.8   |
| 民間の講座・教室           | 22.7 | 13.6 | 29.5 | 21.0   |
| 大学・短大の公開講座         | 1.6  | 3.0  | 0.6  | 3.0    |
| 大学・短大の正規の授業        | 2.5  | 2.3  | 2.8  | *2     |
| 各種学校・専修学校          | 5.6  | 6.8  | 5.1  | 4.8    |
| グループ・サークル・団体       | 30.2 | 29.5 | 31.3 | 35.5   |
| 通信教育               | 11.2 | 10.6 | 12.5 | 11.6   |
| 個人で先生について          | 17.1 | 12.1 | 18.8 | 23.1   |
| その他                | 5.9  | 3.0  | 8.5  | 5.6    |

\*複数回答 学習希望者数に対する比率

\*1 平成8年調査では「テレビ・ラジオを利用してひとりで」(20.2%)と「ビデオ・CDを利用してひとりで」(12.4%)の2つの選択肢に分けている。

\*2 今回の調査で新たに設けた選択肢。

仙台市民が用いている学習方法として最も多いのは、「本を利用してひとりで」というものである。続いて、「グループ・サークル・団体で」、「ひとりで練習、けいこして」、「カルチャーセンター・スポーツクラブや民間の講座・教室で」、「テレビ・ラジオ・CDを利用してひとりで」、「市民センター・体育館などの公共施設が行う講座・教室で」となっている。

これらのことから分かることとして、かなり「個人学習」の方法を採用する傾向があるということであろう。「グループ・サークル・団体で」という方法を用いている人は30%である。公共の施設や民間の学習施設で講座や学級を利用するという人もいるが、それぞれ20%程度であることを考慮すると、学習者が適切に学習方法・形態を選択して学習しているといえよう。

今回の結果を平成8年調査と比べると、「本を利用してひとりで」や「図書館などを利用してひとりで」「市民センター・体育館などの公共施設が行う講座・教室」は比率が上昇しているが、「グループ・サークル・団体で」と「個人で先生について」は逆に低下している。

用いている学習方法・形態を性別に見ると、男性では「本を利用してひとりで」が圧倒的に多く、続いて、「ひとりで練習、けいこして」、「グループ・サークル・団体で」となっている。女性では、男性と同じく「本を利用してひとりで」というのが最も多いが、次が「グループ・サークル・団体で」が多く、それと同じくらいの比率で「カルチャーセンター・スポーツクラブや民間の講座・教室で」というのが用いられている。

年齢別では（表Ⅲ—3—2）、各年齢層を通じて用いられているのは、「本を利用してひとりで」というものである。70歳以上という高齢者においても、「本を利用してひとりで」という学習方法が用いられている。また、「グループ・サークル・団体で」「ひとりで練習・けいこして」という方法も、各年齢層で用いられている。「市民センター・体育館など公共施設が行う講座・教室で」というのが多く用いられるのは、50歳以降の年齢層においてである。

表Ⅲ—3—2 年齢別にみた学習方法・形態—上位5位まで— (%)

|        | 1 位                   | 2 位                           | 3 位                            | 4 位                             | 5 位                          |
|--------|-----------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 20～29歳 | 本を利用してひとりで<br>(45.1)  | ひとりで練習<br>(33.3)              | テレビ・CD<br>(21.6)               | 民間の講座・教室 通信教育<br>グループ・サークル      | (13.7)                       |
| 30～39歳 | 本を利用してひとりで<br>(63.5)  | グループ・サークル<br>(24.3)           | テレビ・CD<br>(23.0)               | 図書館などを利用して<br>(21.6)            | ひとりで練習<br>民間の講座・教室<br>(20.3) |
| 40～49歳 | 本を利用してひとりで<br>(60.4)  | 民間の講座・教室<br>(32.1)            | グループ・サークル<br>(30.2)            | ひとりで練習<br>(28.3)                | テレビ・CD<br>(22.6)             |
| 50～59歳 | 本を利用してひとりで<br>(36.6)  | グループ・サークル<br>(28.3)           | 公共施設の講座<br>個人で先生について<br>(26.7) | テレビ・CD<br>練習 民間の講座・教室<br>(20.0) | ひとりで練習<br>公共施設の講座<br>(22.4)  |
| 60～69歳 | グループ・サークル<br>(51.0)   | 本を利用してひとりで<br>(38.8)          | 民間の講座・教室<br>(32.7)             | ひとりで練習<br>(24.5)                | 公共施設の講座<br>(22.4)            |
| 70歳以上  | 本を利用してひとりで<br>(100.0) | ひとりで練習<br>グループ・サークル<br>(61.1) | 個人で先生について<br>(33.3)            | 公共施設の講座<br>通信教育<br>(27.8)       |                              |

\*複数回答 学習者数に対する比率



学習方法・形態を居住地区別に見たのが表Ⅲ－３－３である。各区とも「本を利用してひとりで」という回答が第１位である。「ひとりで練習・けいこして」という回答も多い。宮城野区、泉区では「カルチャーセンター・スポーツクラブや民間の講座・教室で」という回答が他の区よりも多い。「市民センター・体育館など公共施設が行う講座・教室で」という回答は若林区で多い。

表Ⅲ－３－３ 地区別にみた学習方法・形態－上位３位まで－ (%)

| 地区   | １位               | ２位                 | ３位                        |
|------|------------------|--------------------|---------------------------|
| 青葉区  | 本を利用してひとりで(55.7) | ひとりで練習・けいこして(37.5) | グループ・サークル・団体(31.8)        |
| 宮城野区 | 本を利用してひとりで(45.2) | グループ・サークル・団体(35.5) | ひとりで練習・けいこ 民間の講座・教室(22.6) |
| 若林区  | 本を利用してひとりで(40.0) | 個人で先生について(28.6)    | 公共施設の講座・教室(25.7)          |
| 太白区  | 本を利用してひとりで(55.6) | グループ・サークル・団体(36.5) | ひとりで練習・けいこして(23.9)        |
| 泉区   | 本を利用してひとりで(58.3) | テレビ・CDなどを利用して      | ひとりで練習・けいこして(27.8)        |

\*複数回答 学習者数に対する比率

さらに、学習内容(上位１０位までの項目)と学習方法との関係を見たものが、表Ⅲ－３－４である。学習内容に関わらず「本を利用してひとりで」という回答が多いが、「美術・写真・書道」の内容については、いろいろな学習方法で学ばれていることがわかる。また、「舞踏・演劇・民俗芸能」や「球技」については、「グループ・サークル・団体」で、「パソコン(趣味)」は「公共施設の講座・教室」で、また、「個人スポーツ」は「民間の講座・教室」で多く学ばれている。

表Ⅲ－３－４ 学習内容(上位１０位項目)と学習方法との関係－上位３位まで－ (%)

|            | １位                 | ２位                  | ３位                        |
|------------|--------------------|---------------------|---------------------------|
| 美術・写真・書道   | 本を利用してひとりで         | ひとりで練習・けいこ          | 民間の講座・教室(28.2)            |
| 資格         | 本を利用してひとりで(58.8)   | 通訳教育(23.5)          | 図書館などを利用 民間の講座・教室(8.8)    |
| 球技         | グループ・サークル・団体(45.1) | 民間の講座・教室(29.0)      | ひとりで練習・けいこ(25.8)          |
| 外国語        | 本を利用してひとりで(38.5)   | ひとりで練習・けいこ          | 民間の講座・教室(15.4)            |
| 個人スポーツ     | 民間の講座・教室(50.0)     | グループ・サークル・団体(23.1)  | 個人で先生について(11.5)           |
| 音楽         | ひとりで練習・けいこ         | 個人で先生について(39.1)     | 本を利用してひとりで(26.1)          |
| 園芸・盆栽      | 本を利用してひとりで(56.5)   | テレビ・CDなどを利用して(34.8) | ひとりで練習・けいこ(30.4)          |
| パソコン(趣味)   | 公共施設の講座・教室(40.9)   | 本を利用してひとりで(22.7)    | ひとりで練習・けいこ 民間の講座・教室(13.6) |
| パソコン(その他)  | 本を利用してひとりで(40.9)   | 公共施設の講座・教室(31.8)    | ひとりで練習・けいこ(27.3)          |
| 舞踏・演劇・民俗芸能 | グループ・サークル・団体(75.0) | 本を利用してひとりで          | 民間の講座・教室(15.0)            |

\*複数回答 各学習活動数に対する比率

#### 4. 学習の目的

ここからは、これまで見てきた学習活動を、どのような目的で行っているかを明らかにしておこう。

表Ⅲ－４－１を見るとわかるように、学習の目的で特に多いのは平成８年調査と同様に「生きがい・楽しみのため」であり、次が、「健康・体力づくりのため」「芸術・趣味を身につけるため」となっている。ただし「生きがい・楽しみのため」は平成８年調査と比べると比率がやや低くなっている。一方、「職業・収入のため」「家庭生活をよりよくするため」「社会の変化に遅れないため」は比率が上昇している。

表Ⅲ－４－１ 性別にみた学習の目的 (％)

|        | 職業・収入のため | 資格取得のため | よくするため | 家庭生活をより | め    | 教養を高めるた | つけるため | 芸術・趣味を身に | 健康・体力づくり | のため | 生きがい・楽しみ | 知り合うため | いろいろな人と | れないため | 社会の変化に遅 | その他 |
|--------|----------|---------|--------|---------|------|---------|-------|----------|----------|-----|----------|--------|---------|-------|---------|-----|
| 全体     | 27.4     | 24.0    | 22.7   | 31.5    | 33.6 | 34.0    | 71.0  | 28.3     | 19.3     | 2.5 |          |        |         |       |         |     |
| 男      | 31.8     | 25.0    | 13.6   | 29.5    | 34.8 | 33.3    | 61.4  | 26.5     | 23.5     | 2.3 |          |        |         |       |         |     |
| 女      | 23.9     | 22.2    | 29.5   | 33.0    | 31.8 | 34.7    | 79.0  | 30.7     | 15.9     | 2.3 |          |        |         |       |         |     |
| 平成8年調査 | 22.8     | 22.6    | 18.0   | 31.7    | 37.6 | 37.1    | 76.1  | 30.9     | 9.1      | 6.4 |          |        |         |       |         |     |

\*複数回答 学習者数に対する比率

性別でみると、男性の場合、「職業・収入のため」「社会の変化に遅れないため」という回答が女性よりも多い。また、女性の方が男性よりも多いのは、「家庭生活をよりよくするため」などである。

年齢別に学習の目的を見ると、表Ⅲ－４－２のように、20代では「職業・収入のため」という回答が最も多いが、その他の年代では「生きがい・楽しみのため」という回答がもっとも多い。また、40代までは「職業・収入のため」という回答は上位にあるが、50代以降では6位以下になる。50代以降の特徴としては、「いろいろな人と知り合うため」という回答が比較的高い位置にくることであろう。

どのような学習内容をどのような目的で学んでいるかを調べるために見たのが、表Ⅲ－４－３である。学習内容（中項目）については件数の多い順に並べてある。

学習内容として最も多い「美術・写真・書道」は、「芸術・趣味を身につける」「生きがい・楽しみのため」に学んでいる人が多い。「資格」については、「資格取得のため」「職業・収入のため」が多い。また、「球技」は「健康・体力づくりのため」「生きがい・楽しみのため」が多く、「外国語」は、「教養を高めるため」が多くなっている。

表Ⅲ－４－２ 年齢別にみた学習の目的－上位５位まで－

(%)

|              | 1 位                        | 2 位                         | 3 位                         | 4 位                         | 5 位                         |
|--------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 20 ～<br>29 歳 | 職業・収入のため<br>(39.2)         | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(39.2)   | 資格取得のため<br>(35.3)           | 芸術・趣味を身に<br>つけるため<br>(31.4) | 健康・体力づくり<br>のため<br>(29.4)   |
| 30 ～<br>39 歳 | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(48.6)  | 職業・収入のため<br>(37.8)          | 資格取得のため<br>(36.5)           | 教養を高めるた<br>め<br>(31.1)      | 芸術・趣味を身に<br>つけるため<br>(24.3) |
| 40 ～<br>49 歳 | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(73.6)  | 職業・収入のため<br>(37.7)          | 教養を高めるた<br>め<br>(37.7)      | 社会の変化に遅<br>れないため<br>(34.0)  | 資格取得のため<br>(30.2)           |
| 50 ～<br>59 歳 | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(91.7)  | 健康・体力づくり<br>のため<br>(41.7)   | いろいろな人と<br>知り合うため<br>(38.3) | 教養を高めるた<br>め<br>(31.7)      | 芸術・趣味を身に<br>つけるため<br>(26.7) |
| 60 ～<br>69 歳 | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(100.0) | 健康・体力づくり<br>のため<br>(55.1)   | 芸術・趣味を身に<br>つけるため<br>(49.0) | いろいろな人と<br>知り合うため<br>(46.9) | 家庭生活をより<br>よくするため<br>(40.8) |
| 70 ～<br>75 歳 | 生きがい・楽しみ<br>のため<br>(111.1) | 芸術・趣味を身に<br>つけるため<br>(72.2) | 教養を高めるた<br>め<br>(66.7)      | 健康・体力づくり<br>のため<br>(66.7)   | いろいろな人と<br>知り合うため<br>(50.0) |

\*複数回答 学習者数に対する比率

表Ⅲ－４－３ 学習の内容（上位 10 項目）と学習の目的の関係

(%)

|            | 職業・収入のため | 資格取得のため | 家庭生活をよくする | 教養を高めるため | いろいろな人と知り合うため | 芸術・趣味を身に | 健康・体力づくりのため | 生きがい・楽しみのため | いろいろな人と出会える | いため | 社会の変化に遅れない | その他 |
|------------|----------|---------|-----------|----------|---------------|----------|-------------|-------------|-------------|-----|------------|-----|
| 美術・写真・書道   | 10.3     | 15.4    | 12.8      | 30.8     | 69.2          | 12.8     | 66.7        | 20.5        | 2.6         | 2.6 |            |     |
| 資格         | 38.2     | 88.2    | —         | 26.5     | —             | —        | 14.7        | 2.9         | 11.8        | —   |            |     |
| 球技         | 3.2      | 3.2     | 3.2       | 3.2      | 16.1          | 93.5     | 64.5        | 41.9        | —           | —   |            |     |
| 外国語        | 23.1     | 15.4    | 3.8       | 61.5     | 19.2          | —        | 15.4        | 11.5        | 11.5        | —   |            |     |
| 個人スポーツ     | —        | 3.8     | 3.8       | —        | 7.7           | 92.3     | 30.8        | 19.2        | —           | 3.8 |            |     |
| 音楽         | 4.3      | 8.7     | 13.0      | 8.7      | 60.9          | 13.0     | 78.3        | 34.8        | 8.7         | 4.3 |            |     |
| 園芸・盆栽      | 4.3      | —       | 56.5      | 8.7      | 43.5          | 17.4     | 87.0        | 21.7        | —           | —   |            |     |
| パソコン(趣味)   | —        | 4.5     | 31.8      | 27.3     | 4.5           | 4.5      | 63.6        | 4.5         | 59.1        | —   |            |     |
| パソコン(その他)  | 45.5     | 18.2    | 22.7      | 22.7     | 9.1           | —        | 50.0        | 13.6        | 86.4        | —   |            |     |
| 舞踏・演劇・民俗芸能 | —        | —       | —         | —        | 20.0          | 70.0     | 65.0        | 45.0        | —           | —   |            |     |

\*複数回答 各学習活動数に対する比率

## 5. 目標とするレベル

次に、学習をする際の目標とするレベルについての考えを見よう。表Ⅲ－５－１のように、全体としては、「入門よりやや高い」あるいは「専門的」レベルを目標としている人が多い。なお、平成８年調査と比べると「入門よりやや高い」の比率は低下し、「専門的」は上昇している。また、性別でやや差があり、男性では「入門よりやや高い」「専門的」が女性より多く、逆に、女性では「入門程度」が男性よりも多くなっている。

表Ⅲ－５－１ 性別にみた目標とするレベル (％)

|        | 入門程度 | 入門より<br>やや高い | 専門的  | 目標はない・<br>わからない |
|--------|------|--------------|------|-----------------|
| 全体     | 25.9 | 51.1         | 48.9 | 14.0            |
| 男      | 19.7 | 53.0         | 53.8 | 9.8             |
| 女      | 30.7 | 45.5         | 44.3 | 17.6            |
| 平成8年調査 | 28.5 | 63.2         | 42.5 | 11.6            |

\*複数回答 学習者数に対する比率

年齢別に目標とするレベルを見ると（表Ⅲ－５－２）、「専門的」を求めるのは若い世代に多い。特に30代では71.6%となっている。50代以降は「入門よりやや高い」ところを目標としている。

表Ⅲ－５－２ 年齢別にみた目標とするレベル (％)

|        | 入門程度 | 入門より<br>やや高い | 専門的  | 目標はない・<br>わからない |
|--------|------|--------------|------|-----------------|
| 20～29歳 | 27.5 | 25.5         | 56.9 | 17.6            |
| 30～39歳 | 21.6 | 28.4         | 71.6 | 14.9            |
| 40～49歳 | 39.6 | 43.4         | 56.6 | 7.5             |
| 50～59歳 | 23.3 | 70.0         | 28.3 | 21.7            |
| 60～69歳 | 22.4 | 85.7         | 30.6 | 8.2             |
| 70歳以上  | 22.2 | 94.4         | 27.8 | 16.7            |

\*複数回答 学習者数に対する比率

学習内容として多かった上位10項目（中項目）について、目標とするレベルを見ると、表Ⅲ－５－３のようになった。学習内容として多かった「美術・写真・書道」では、「入門よりやや高い」と「専門的」が同じ比率である。「音楽」についても、同じ傾向がある。また、「資格」では「専門的」が多く、その他の内容では「入門よりやや高い」レベルが目標となっている。

表Ⅲ－５－３ 学習内容（上位 10 項目）と目標とするレベル（％）

|            | 入門程度 | 入門より<br>やや高い | 専門的  | 目標はない・<br>わからない |
|------------|------|--------------|------|-----------------|
| 美術・写真・書道   | 13.2 | 39.5         | 39.5 | 7.9             |
| 資格         | 11.8 | 8.8          | 79.4 | 0.0             |
| 球技         | 6.9  | 48.3         | 27.6 | 17.2            |
| 外国語        | 19.2 | 38.5         | 30.8 | 11.5            |
| 個人スポーツ     | 28.0 | 44.0         | 8.0  | 20.0            |
| 音楽         | 13.0 | 39.1         | 39.1 | 8.7             |
| 園芸・盆栽      | 17.4 | 47.8         | 17.4 | 17.4            |
| パソコン（趣味）   | 22.7 | 63.6         | 13.6 | 0.0             |
| パソコン（その他）  | 22.7 | 45.5         | 27.3 | 4.5             |
| 舞踏・演劇・民俗芸能 | 10.0 | 55.0         | 10.0 | 25.0            |

\*各学習活動数に対する比率

学習の目的と目標とするレベルの関係は、表Ⅲ－５－４のようである。「職業・収入のため」や「資格取得のため」という学習目的の場合、「専門的」なレベルが目標とされる。また、「教養を高める」という学習目的では、「入門よりやや高い」レベルと「専門的」レベルが同数である。「教養を高める」という目的の場合、一通り分かればよい・できればよいという場合と、極めたいという場合があることが予想される。

表Ⅲ－５－４ 学習の目的と目標としたいレベル（％）

|              | 入門程度 | 入門より<br>やや高い | 専門的  | 目標はない・<br>わからない |
|--------------|------|--------------|------|-----------------|
| 職業・収入のため     | 14.8 | 20.5         | 62.5 | 2.3             |
| 資格取得のため      | 5.2  | 11.7         | 77.9 | 5.2             |
| 家庭生活をよくするため  | 20.8 | 51.4         | 19.4 | 8.3             |
| 教養を高めるため     | 16.2 | 39.4         | 39.4 | 5.1             |
| 芸術・趣味を身につける  | 12.1 | 43.0         | 34.6 | 10.3            |
| 健康・体力づくりのため  | 18.1 | 48.6         | 19.0 | 14.3            |
| 生きがい・楽しみのため  | 15.1 | 44.4         | 31.6 | 8.9             |
| いろいろな人と出会える  | 10.3 | 56.3         | 23.0 | 10.3            |
| 社会の変化に遅れないため | 22.6 | 41.9         | 30.6 | 4.8             |
| その他 *1       | 37.5 | —            | 37.5 | 25.0            |

\*各学習活動数に対する比率      \*1 実数 8 に対する比率

## 6. 学習を阻害する要因

ここでは、学習を阻害する要因として、学習をしていて困ったこと、および、学習をしなかった理由の、二つについて検討する。

### (1) 学習をしていて困ったこと

学習をしていて困ったことについては、表Ⅲ－6－1のように平成8年調査とほぼ同じ結果が見られた。もっとも多かったのは、「費用がかかりすぎる」というもので、続いて、「開講時間が合わない」「学習場所が遠い」などとなっている。平成8年調査とやや差が生じていたのは「仲間がいない」で、今回の比率の方が高い。

それぞれの理由を性別に見ると、「費用がかかりすぎる」というのは、男性よりも女性の方が理由としてあげている人が多い。「開講時間があわない」についても女性の方が多い。一方、男性の比率の方が高いのは、「設備が十分でない」「適当な講師・指導者がいない」などである。

表Ⅲ－6－1 性別にみた学習していて困ったこと (%)

|                | 全体   | 男    | 女    | 平成8年調査 |
|----------------|------|------|------|--------|
| 費用がかかりすぎる      | 25.2 | 18.9 | 31.3 | 28.8   |
| 学習場所が遠い        | 13.1 | 12.9 | 13.1 | 14.5   |
| 開講時間があわない      | 14.6 | 9.1  | 18.8 | 15.1   |
| 仲間がいない         | 12.5 | 13.6 | 10.8 | 7.5    |
| 設備が十分でない       | 6.9  | 11.4 | 4.0  | 5.1    |
| 適当な講師・指導者がいない  | 5.6  | 8.3  | 2.8  | 9.4    |
| 開館時間が合わない      | 5.3  | 5.3  | 5.1  | 3.5    |
| 必要な情報が入手できない   | 8.7  | 5.3  | 10.8 | 8.6    |
| 子供に手がかって集中できない | 7.5  | 4.5  | 10.2 | 6.5    |
| 希望に合う講座がない     | 10.6 | 7.6  | 13.6 | 8.3    |
| 相談相手・場所がない     | 7.5  | 7.6  | 6.8  | 6.7    |
| 外に出ること自体がたいへん  | 2.8  | 0.8  | 4.0  | *1     |
| 外に出ることがいや      | 1.2  | —    | 2.3  | *1     |
| その他            | 11.2 | 11.4 | 10.2 | 7.0    |

\*複数回答 学習者数に対する比率

\*1 今回の調査で新設した項目

年齢別で見ると、表Ⅲ－６－２のとおりである。60 歳を超えると、「学習場所が遠い」という回答が最も多く、次が、「設備が十分でない」となっている。高齢者にとって学習しやすい環境が確保できるかどうか、重要な要因であるといえよう。

40 代までの困ったこととしては、二番目に「開講時間が合わない」ことがあげられている。勤労世代にとって、開講時間がネックであることが見て取れる。また、30 代では「必要な情報が入手できない」ということも4 位となっており、こうした問題も大きいといえる。

表Ⅲ－６－２ 年齢別にみた学習していて困ったこと－上位5 位まで－ (%)

|             | 1 位                   | 2 位                                      | 3 位  | 4 位                         | 5 位 |
|-------------|-----------------------|--|--|-----------------------------|-----|
| 20～<br>29 歳 | 費用がかかりすぎる<br>(39.2)   | 開講時間が合わない<br>仲間がいない<br>(17.6)            |  |                             |     |
| 30～<br>39 歳 | 費用がかかりすぎる<br>(31.1)   | 開講時間が合わない 子どもに手が<br>かかって集中できない<br>(20.3) | 情報が入手で<br>きない<br>(16.2)                      | 学習場所が遠<br>い<br>(14.9)       |     |
| 40～<br>49 歳 | 費用がかかりすぎる<br>(28.3)   | 開講時間が合<br>わない<br>(18.9)                  | 仲間がいない<br>その他<br>(15.1)                      | 希望に合う内容<br>の講座がない<br>(13.2) |     |
| 50～<br>59 歳 | 費用がかかりすぎる<br>(25.0)   | その他<br>(15.0)                            | 開講時間が合わない 学習場所が遠い<br>希望に合う内容の講座がない<br>(13.3) |                             |     |
| 60～<br>69 歳 | 学習場所が遠<br>い<br>(16.3) | 設備が十分で<br>ない<br>(14.3)                   | 費用がかかりすぎる<br>仲間がいない<br>(10.2)                |                             |     |
| 70～<br>75 歳 | その他<br>(22.2)         | 学習場所が遠い 設備が十分でない<br>仲間がいない<br>(16.7)     | 費用がかかりすぎる 指導者がい<br>ない 外出すること自体が大変<br>(11.1)  |                             |     |

\*複数回答 学習者数に対する比率 10%以上のもののみ掲載

職業別にみた場合の、学習していて困ったことは表Ⅲ－６－３の通りである。「勤め（常勤）」にとって、多いのは「費用がかかりすぎる」「開講時間が合わない」である。同じ勤めであっても「勤め（非常勤）」の場合は、「費用がかかりすぎる」の比率がやや高くなることに加えて、いくつかの困ったことがあげられている。専業主婦の場合、費用の問題に続いて、「子どもに手がかかる」が多い。

さらに、末子の年齢との関係で見ると、表Ⅲ－６－４のように、子どもの年齢が中学を卒業する年齢になると「子どもに手がかかる」という人はいなくなる。子どもの年齢が「19 歳以上」という自立した子どもを持つ年齢になると、「費用がかかりすぎる」という問題や、「学習場所が遠い」「仲間がいない」という問題があげられるようになる。

表Ⅲ－６－３ 職業別にみた学習していて困ったこと

(%)

|         | 費用がかかりすぎる | 学習場所が遠い | 開講時間があわない | 仲間がいない | 設備が十分でない | 適当な講師・指導者がいない | 開館時間があわない | 必要な情報が入手できない | 子供に手がかかる | 希望に合う講座がない | 相談相手・場所がない | 外に出ること自体が大変 | 外に出ることがいや | その他  |
|---------|-----------|---------|-----------|--------|----------|---------------|-----------|--------------|----------|------------|------------|-------------|-----------|------|
| 勤め(常勤)  | 28.2      | 11.8    | 23.6      | 14.5   | 8.2      | 8.2           | 10.0      | 9.1          | 9.1      | 11.8       | 7.3        | 0.9         | —         | 8.2  |
| 勤め(非常勤) | 30.4      | 15.2    | 17.4      | 15.2   | 10.9     | 2.2           | 4.3       | 13.0         | 2.2      | 15.2       | 2.2        | 6.5         | —         | 13.0 |
| 自営業・自由業 | 17.9      | 10.7    | 10.7      | 3.6    | 7.1      | 7.1           | —         | 3.6          | 7.1      | 10.7       | 14.3       | —           | —         | 10.7 |
| 家族従業者*1 | —         | —       | 25.0      | 25.0   | —        | 25.0          | 25.0      | 50.0         | —        | 25.0       | —          | 25.0        | —         | 25.0 |
| 学生      | 41.7      | 8.3     | 8.3       | 16.7   | 8.3      | 8.3           | —         | 8.3          | —        | —          | 8.3        | —           | —         | 8.3  |
| 専業主婦    | 22.7      | 10.6    | 6.1       | 3.0    | 1.5      | —             | 3.0       | 4.5          | 16.7     | 4.5        | 1.5        | 1.5         | 3.0       | 15.2 |
| 無職      | 27.8      | 22.2    | 5.6       | 22.2   | 11.1     | 2.8           | —         | 5.6          | —        | 19.4       | 16.7       | 5.6         | 5.6       | 5.6  |
| その他*2   | —         | 20.0    | —         | —      | —        | 2.0           | —         | 20.0         | —        | —          | 20.0       | —           | —         | 20.0 |

\*複数回答 学習者数に対する比率

\*1 実数4に対する比率 \*2 実数5に対する比率

表Ⅲ－６－４ 末子の年齢別にみた学習していて困ったこと

(%)

|         | 費用がかかりすぎる | 学習場所が遠い | 開講時間があわない | 仲間がいない | 設備が十分でない | 適当な講師・指導者がいない | 開館時間があわない | 必要な情報が入手できない | 子供に手がかかる | 希望に合う講座がない | 相談相手・場所がない | 外に出ること自体が大変 | 外に出ることがいや | その他  |
|---------|-----------|---------|-----------|--------|----------|---------------|-----------|--------------|----------|------------|------------|-------------|-----------|------|
| 0-3 歳   | 13.8      | —       | 10.3      | 6.9    | 3.4      | 6.9           | 3.4       | 3.4          | 51.7     | 10.3       | 10.3       | 3.4         | —         | 13.8 |
| 4-6 歳   | 35.0      | 5.0     | 10.0      | 10.0   | 5.0      | —             | 5.0       | 20.0         | 25.0     | 5.0        | 10.0       | 5.0         | 5.0       | 10.0 |
| 7-12 歳  | 35.7      | 14.3    | 17.9      | 7.1    | 7.1      | 7.1           | 14.3      | 10.7         | 10.7     | 21.4       | 14.3       | 7.1         | —         | 3.6  |
| 13-15 歳 | 20.0      | 20.0    | 6.7       | 20.0   | 6.7      | 6.7           | —         | 6.7          | 6.7      | 26.7       | —          | 6.7         | —         | 6.7  |
| 16-18 歳 | 23.1      | 15.4    | 15.4      | —      | —        | 7.7           | —         | —            | —        | —          | —          | —           | —         | 15.4 |
| 19歳以上   | 15.0      | 15.0    | 9.3       | 11.2   | 7.5      | 4.7           | 2.8       | 4.7          | —        | 6.5        | 6.5        | 1.9         | 0.9       | 15.0 |
| いない     | 39.4      | 14.9    | 23.4      | 17.0   | 9.6      | 5.3           | 7.4       | 12.8         | —        | 13.8       | 6.4        | 1.1         | 2.1       | 7.4  |

\*複数回答 学習者数に対する比率



居住地区別で見ると（表Ⅲ－６－５）、いずれの地区でも費用の問題があげられている。続く二番目の問題として、「青葉区」では、「開講時間が合わない」「希望に合う講座がない」などが多くあげられている。「宮城野区」では、「仲間がいない」や「子どもに手がかかる」が多い。「若林区」では、「開講時間が合わない」「学習場所が遠い」があげられている。「太白区」では、「開講時間が合わない」「仲間がいない」が多く、「泉区」では、「学習場所が遠い」が多くなっている。

表Ⅲ－６－５ 居住地区別にみた学習していて困ったこと (%)

|      | 費用がかかりすぎる | 学習場所が遠い | 開講時間があわない | 仲間がいない | 設備が十分でない | 適当な講師・指導者がいない | 開館時間があわない | 必要な情報が入手できない | 子供に手がかかる | 希望に合う講座がない | 相談相手・場所がない | 外に出ること自体が大変 | 外に出ることがいや | その他  |
|------|-----------|---------|-----------|--------|----------|---------------|-----------|--------------|----------|------------|------------|-------------|-----------|------|
| 青葉区  | 34.1      | 10.2    | 17.0      | 13.6   | 9.1      | 5.7           | 6.8       | 13.6         | 3.4      | 14.8       | 6.8        | 3.4         | 2.3       | 6.8  |
| 宮城野区 | 17.7      | 9.7     | 9.7       | 11.3   | 6.5      | 3.2           | 4.8       | 4.8          | 11.3     | 4.8        | 6.5        | 1.6         | —         | 9.7  |
| 若林区  | 25.7      | 20.0    | 22.9      | 8.6    | 5.7      | 8.6           | —         | 5.7          | 5.7      | 2.9        | 8.6        | —           | —         | 17.1 |
| 太白区  | 20.6      | 11.1    | 14.3      | 14.3   | 6.3      | 6.3           | 9.5       | 9.5          | 6.3      | 14.3       | 7.9        | 3.2         | 1.6       | 9.5  |
| 泉区   | 25.0      | 18.1    | 12.5      | 12.5   | 5.6      | 5.6           | 2.8       | 6.9          | 11.1     | 11.1       | 8.3        | 4.2         | 1.4       | 15.3 |

\*複数回答 学習者数に対する比率

## （２）学習をしなかった理由

二つ目の学習障害要因として、学習をしなかったと回答した人を対象に、その理由を見ることが出来る。

表Ⅲ－６－６を見るとわかるようにもっとも多い理由は「忙しくて時間がない」であるが、平成８年調査と比べると若干減って 50%を割っている。この理由以外では「費用がかかりすぎる」「きっかけがつかめない」「特に理由はない」が２割前後を占めている。

性別で見ると、男女とも「忙しくて時間がない」という回答が最も多いが、二番目の理由がやや異なる。男性では、「きっかけがつかめない」が 23.5%となっている。女性では、「費用がかかりすぎる」があげられている。「きっかけがつかめない」という回答率は、男性の方が女性（17.3%）より多くなっている。

表Ⅲ－６－６ 性別にみた学習しなかった理由

(%)

|        | そういうことが好きでない | 近くに適当なものがない | 一緒にする仲間がない | 費用がかかりすぎる | 忙しくて時間が無い | 学習の機会や場所がわからない | 家族や職場の理解が得られない | きっかけがつかめない | 何をどのように学習しているかわからない | 外に出ること自体大変 | 外に出ることが好きでない | 特に理由はない | その他  |
|--------|--------------|-------------|------------|-----------|-----------|----------------|----------------|------------|---------------------|------------|--------------|---------|------|
| 全体     | 8.0          | 16.3        | 7.0        | 21.5      | 47.2      | 8.0            | 2.0            | 20.4       | 8.3                 | 4.8        | 3.9          | 19.3    | 8.3  |
| 男      | 10.6         | 17.3        | 8.4        | 20.4      | 46.9      | 8.8            | 1.8            | 23.5       | 11.9                | 1.8        | 4.0          | 21.2    | 4.0  |
| 女      | 5.5          | 15.9        | 4.5        | 22.7      | 46.8      | 6.8            | 2.3            | 17.3       | 4.1                 | 7.7        | 3.6          | 16.8    | 12.7 |
| 平成8年調査 | 5.3          | 18.7        | 8.3        | 21.0      | 51.0      | 11.5           | 1.6            | 22.8       | 9.3                 | *1         | *1           | 18.5    | 6.5  |

\*複数回答 学習していない人の数に対する比率

\*1 今回の調査で新設

年齢別に学習しなかった理由を見ると、表Ⅲ－６－７のように、40代までは「忙しくて時間が無い」という回答が多い。50代では、「きっかけがつかめない」、60歳以上になると、「特に理由はない」が最も多くなっている。

表Ⅲ－６－７ 年齢別にみた学習しなかった理由

(%)

|        | そういうことが好きでない | 近くに適当なものがない | 一緒にする仲間がない | 費用がかかりすぎる | 忙しくて時間が無い | 学習の機会や場所がわからない | 家族や職場の理解が得られない | きっかけがつかめない | 何をどのように学習しているかわからない | 外に出ること自体大変 | 外に出ることが好きでない | 特に理由はない | その他  |
|--------|--------------|-------------|------------|-----------|-----------|----------------|----------------|------------|---------------------|------------|--------------|---------|------|
| 20-29歳 | 9.9          | 27.5        | 6.6        | 25.3      | 51.6      | 12.1           | 1.1            | 14.3       | 8.8                 | —          | 1.1          | 17.6    | 8.8  |
| 30-39歳 | 3.8          | 6.6         | 5.7        | 31.1      | 60.4      | 6.6            | 1.9            | 16.0       | 1.9                 | 4.7        | 3.8          | 10.4    | 11.3 |
| 40-49歳 | 8.2          | 14.1        | 5.9        | 24.7      | 54.1      | 4.7            | 3.5            | 21.2       | 8.2                 | 3.5        | 3.5          | 16.5    | 7.1  |
| 50-59歳 | 10.0         | 16.7        | 7.8        | 13.3      | 36.7      | 8.9            | 1.1            | 38.9       | 10.0                | 5.6        | 5.6          | 24.4    | 5.6  |
| 60-69歳 | 11.8         | 25.5        | 3.9        | 7.8       | 23.5      | 5.9            | 2.0            | 11.8       | 17.6                | 9.8        | 5.9          | 29.4    | 9.8  |
| 70-75歳 | 5.0          | 10.0        | 10.0       | 10.0      | 25.0      | 10.0           | —              | 10.0       | 5.0                 | 15.0       | 5.0          | 35.0    | 5.0  |

\*複数回答 学習していない人の数に対する比率

職業別では（表Ⅲ－６－８）、勤め(常勤)の場合には「忙しくて時間がない」が６割弱、学生の場合には「費用がかかりすぎる」が４割弱を占めている。また、自営業・自由業の３割が「特に理由はない」と回答している。

表Ⅲ－６－８ 職業別にみた学習しなかった理由 (%)

|         | そう<br>いう<br>こと<br>が<br>好<br>き<br>で<br>な<br>い | 近<br>く<br>に<br>適<br>当<br>な<br>も<br>の<br>が<br>な<br>い | 一<br>緒<br>に<br>す<br>る<br>仲<br>間<br>が<br>い<br>な<br>い | 費<br>用<br>が<br>か<br>か<br>り<br>す<br>ぎ<br>る | 忙<br>し<br>く<br>て<br>時<br>間<br>が<br>無<br>い | 学<br>習<br>の<br>機<br>会<br>や<br>場<br>所<br>が<br>わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 家<br>族<br>や<br>職<br>場<br>の<br>理<br>解<br>が<br>得<br>ら<br>れ<br>な<br>い | き<br>つ<br>か<br>け<br>が<br>つ<br>か<br>め<br>な<br>い | 何<br>を<br>ど<br>の<br>よ<br>う<br>に<br>学<br>習<br>し<br>て<br>い<br>い<br>の<br>か<br>わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 外<br>に<br>出<br>る<br>こ<br>と<br>自<br>体<br>大<br>変 | 外<br>に<br>出<br>る<br>こ<br>と<br>が<br>好<br>き<br>で<br>な<br>い | 特<br>に<br>理<br>由<br>は<br>無<br>い | そ<br>の<br>他 |
|---------|--|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|---------------------------------|-------------|
| 勤め(常勤)  | 7.5  | 18.1  | 8.5   | 23.6                                      | 58.8                                      | 9.5  | 2.5  | 24.6   | 10.1   | 1.0  | 4.0  | 15.6                            | 4.5         |
| 勤め(非常勤) | 10.0   | 12.9  | —   | 28.6                                      | 44.3                                      | 2.9  | 4.3  | 22.9   | 4.3  | 2.9  | 2.9  | 21.4                            | 8.6         |
| 自営業自由業  | 2.5  | 7.5   | 5.0   | 10.0                                      | 47.5                                      | 7.5  | 2.5  | 7.5  | 7.5  | 5.0  | 5.0  | 30.0                            | 7.5         |
| 家族従事者*1 | —  | 25.0  | —   | —   | —   | —  | —  | 25.0   | —  | —  | —  | —                               | 50.0        |
| 学生      | 15.4   | 15.4  | 15.4  | 38.5                                      | 46.2                                      | 15.4   | —  | 15.4   | 15.4   | —  | —  | 7.7                             | 7.7         |
| 専業主婦    | 7.3  | 18.3  | 6.1   | 18.3                                      | 36.6                                      | 8.5  | —  | 13.4   | 6.1  | 11.0   | 4.9  | 17.1                            | 15.9        |
| 無職      | 13.9   | 22.2  | 8.3   | 13.9                                      | 13.9                                      | 5.6  | —  | 25.0   | 8.3  | 16.7   | 2.8  | 33.3                            | 5.6         |
| その他*2   | —  | —   | —   | —   | 100                                       | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —                               | 100         |

\*複数回答 学習していない人の数に対する比率

\*1 実数４に対する比率 \*2 実数１に対する比率

## ７．学習のきっかけと学習情報の提供

次に、市民がどのような情報をきっかけとして学習活動に向かうか、また、どのような情報源から学習機会を見出そうとしているかを見てみよう。学習のきっかけは、表Ⅲ－７－１に見られるとおり、平成８年調査よりも比率を落としているが「知人・仲間の話」が飛びぬけて多い。続いて、「テレビ・ラジオ・新聞・週刊誌」「チラシ・ポスター」である。「市政だより」や「施設のお知らせ」はいずれも１０％程度であるが、平成８年調査と比べると若干増えている。

学習をしなかった人の理由は既に分析したが、では、学習をしなかった人は、学習機会選択のための情報源としての市政だよりを、どの程度目を通していただろうか。それを見たのが、表Ⅲ－７－２である。この中で、「学習の機会や場所がわからない」と回答している市民の４０．５％は「毎回読む」と回答している。

表Ⅲ－７－１ 学習のきっかけ (%)

|                 | 今回調査 | 平成 8 年調査 |
|-----------------|------|----------|
| 市政だより           | 10.6 | 6.2      |
| 施設のお知らせ         | 12.1 | 4.3      |
| 民間の情報誌・タウン誌     | 11.2 | 9.4      |
| テレビ・ラジオ・新聞・週刊誌  | 19.6 | 24.2     |
| チラシ・ポスター        | 13.1 | 9.9      |
| 町内会の回覧版         | 3.1  | 1.1      |
| 市民センターなどの情報コーナー | 4.4  | 2.7      |
| ホームページ          | 3.1  | * 1      |
| 知人・仲間の話         | 48.3 | 55.4     |
| その他             | 31.5 | 30.9     |

\*複数回答 学習者数に対する比率

\*1 今回の調査で新設した項目

表Ⅲ－７－２ 学習をしなかった理由と市政だよりを読む頻度 (%)

|                      | 毎回読む | 毎回ではないが読む | あまり読まない | まったく読まない |
|----------------------|------|-----------|---------|----------|
| そうということが好きではない       | 13.5 | 43.2      | 24.3    | 18.9     |
| 近くに適当なものがない          | 34.7 | 41.3      | 14.7    | 9.3      |
| 一緒にする仲間がいない          | 25.0 | 40.6      | 45.6    | 18.8     |
| 費用がかかりすぎる            | 33.3 | 31.3      | 23.2    | 12.1     |
| 忙しくて時間がない            | 29.0 | 35.0      | 22.6    | 13.4     |
| 学習の機会や場所がわからない       | 40.5 | 35.1      | 13.5    | 10.8     |
| 家族や職場の理解が得られない       | 22.2 | 55.6      | 11.1    | 11.1     |
| きっかけがつかめない           | 31.9 | 41.5      | 14.9    | 11.7     |
| 何をどのように学習していいのかわからない | 23.7 | 44.7      | 13.2    | 18.4     |
| 外に出ること自体大変           | 40.9 | 40.9      | 9.1     | 9.1      |
| 外に出ることが好きでない         | 27.8 | 16.7      | 27.8    | 27.8     |
| 特に理由はない              | 23.6 | 36.0      | 14.6    | 16.9     |
| その他                  | 42.1 | 13.2      | 21.1    | 23.7     |

## 8. 社会教育施設の利用

仙台市内には公共・民間の学習施設がたくさん存在するようになった。また、学習に利用できる施設ということになればさらにその数は増えるが、依然として市民の学習活動に対する社会教育施設の役割には大きいものがある。そこで、最後に、市民の社会教育施設の利用について見ておくことにしたい。

表Ⅲ－８－１は利用経験と今後の利用希望を示している。11 の社会教育施設のうち、利用経験をもつ人の比率は、図書館の約6割が一番高く、次いで市民センター、博物館、科学館、体育館・グラウンドがほぼ同じで5割弱となっている。調査時で開館半年あまりというせんだいメディアテークも、利用経験者は約2割であった。男女別で見ると、利用経験者は男性よりも女性の方が多く、市民センターや図書館では10ポイント以上の差が生じている。

一方、利用経験がない人の場合でも、泉岳少年自然の家や体育館・グラウンドを除き利用希望者が多く、地底の森ミュージアムやせんだいメディアテークでは全体の4割以上が今後利用したいと回答している。なお、これらの施設を知らないという人は、一番多いせんだいメディアテークでも16.5%であり、社会教育施設の存在は、多くの市民に知られているといえる。

表Ⅳ－８－１ 性別にみた社会教育施設の利用実態・希望 (％)

|             | 経験あり |      | 経験なし・希望あり |      | 経験なし・希望なし |      | 施設を知らない |      | 不明   |      |
|-------------|------|------|-----------|------|-----------|------|---------|------|------|------|
|             | 全体   |      | 全体        |      | 全体        |      | 全体      |      | 全体   |      |
|             | 男    | 女    | 男         | 女    | 男         | 女    | 男       | 女    | 男    | 女    |
| 市民センター      | 46.0 |      | 25.2      |      | 16.9      |      | 6.0     |      | 5.9  |      |
|             | 39.1 | 52.0 | 27.0      | 24.0 | 21.8      | 13.1 | 5.8     | 5.9  | 6.3  | 5.0  |
| 図書館         | 60.6 |      | 24.1      |      | 9.1       |      | 1.8     |      | 4.5  |      |
|             | 54.3 | 66.8 | 28.1      | 20.0 | 11.3      | 7.4  | 1.4     | 1.7  | 5.0  | 4.0  |
| 博物館         | 48.4 |      | 30.6      |      | 11.5      |      | 3.1     |      | 6.4  |      |
|             | 45.5 | 52.2 | 33.9      | 27.5 | 12.1      | 11.4 | 3.0     | 2.7  | 5.5  | 6.2  |
| 科学館         | 46.6 |      | 29.7      |      | 13.2      |      | 3.4     |      | 7.1  |      |
|             | 46.3 | 48.3 | 31.1      | 28.2 | 12.7      | 14.4 | 3.3     | 3.2  | 6.6  | 5.9  |
| 天文台         | 40.4 |      | 31.5      |      | 15.0      |      | 4.0     |      | 9.1  |      |
|             | 36.9 | 45.0 | 31.7      | 30.7 | 18.2      | 12.6 | 3.9     | 4.0  | 9.4  | 7.7  |
| こども宇宙館      | 23.8 |      | 32.5      |      | 22.0      |      | 11.5    |      | 10.2 |      |
|             | 21.2 | 27.2 | 28.4      | 36.1 | 26.2      | 18.3 | 13.5    | 9.9  | 10.7 | 8.4  |
| 泉岳少年自然の家    | 29.3 |      | 27.1      |      | 27.5      |      | 6.8     |      | 9.3  |      |
|             | 30.0 | 29.7 | 26.7      | 27.5 | 27.8      | 27.2 | 6.3     | 6.9  | 9.1  | 8.7  |
| 歴史民俗資料館     | 25.4 |      | 37.4      |      | 17.9      |      | 9.7     |      | 9.6  |      |
|             | 24.8 | 25.5 | 37.7      | 37.9 | 17.9      | 18.3 | 10.2    | 9.2  | 9.4  | 9.2  |
| 地底の森ミュージアム  | 12.2 |      | 46.5      |      | 16.4      |      | 14.2    |      | 10.7 |      |
|             | 14.6 | 9.7  | 42.4      | 50.7 | 17.1      | 16.3 | 15.7    | 13.1 | 10.2 | 10.1 |
| せんだいメディアテーク | 19.0 |      | 41.7      |      | 12.6      |      | 16.5    |      | 10.2 |      |
|             | 17.1 | 21.3 | 39.9      | 43.8 | 14.6      | 10.9 | 18.2    | 14.9 | 10.2 | 9.2  |
| 体育館・グラウンド   | 46.1 |      | 23.0      |      | 20.2      |      | 3.5     |      | 7.2  |      |
|             | 45.2 | 47.5 | 25.1      | 20.8 | 19.8      | 21.5 | 2.5     | 4.2  | 7.4  | 5.9  |